KOIZUMI

温室効果ガス（GHG）排出量 年次報告書 【2025年度実績】

コイズミ照明株式会社
2026年7月1日作成

コイズミ照明グループは、SBT 認定をマイルストーンとし、脱炭素社会の実現に向けた取り組みを加速させ、目標達成に向けて、事業活動におけるエネルギー使用の効率化や省資源化を推進するとともに、販売する製品の省エネルギー化を一層図ってまいります。

■ Scope 1 & 2 削減目標 (2030年まで)

42.0% 削減 (基準年：2023年比)

■ Scope 3 (Cat11) 削減目標 (2030年まで)

51.6% 削減 (基準年：2023年比)

2030 年までに販売した製品の使用に伴う GHG 排出量を付加価値額あたり 51.6%削減（基準年 2023 年)

実績の推移

排出区分（単位：t-CO_2e）	2023年度 (基準年)	2024年度	2025年度	2025年度 (基準年比：増減率)	
Scope 1 （直接排出：燃料等）	383.79	351.74	315.38	- 17.82 %	
Scope 2 （間接排出：電気等）	1679.09	1817.91	1543.96	- 8.05 %	
Scope 1 & 2 合計	**2,062.88**	**2,169.65**	**1859.34**	**-9.87 %**	
Scope 3 （Cat11：製品の使用）	913,098.78	846,645.49	802,903.80		
※Scope 3(Cat11)は付加価値額あたり排出原単位(51.6%削減)を目標としますが、絶対量を参考値として記載しています。					
Scope 3 （Cat11：製品の使用）増減率	-	-	-	**0.11 %**	【経済的原単位管理】
※Scope 3(Cat11)は付加価値額あたり排出原単位(51.6%削減)を目標とし、基準年（2023年度）に対する増減率を記載しています。					

実績

コイズミ照明グループの削減目標に関するGHG排出量の実績の推移と、直近の2025年度の実績におけるScopeごとの構成比、および、Scope 3カテゴリ別の構成比を右表にて示します。

Scope 3カテゴリ11（販売した製品の使用）における目標の進捗としては、総量ベースでは削減傾向にあるものの、目標としている付加価値額あたりの原単位ベースでは、基準年（2023年度）比で0.11%の微増にとどまり、現在は概ね現状維持（横ばい）の状況です。

2025年度は、新たな高機能商品の開発において、材料の見直しとLED及び電源の最適化による器具効率の向上と消費電力の低減を実現しました。（準耐火構造対応ダウンライト）また、ソーラーパネルで太陽光を吸収し蓄電池に蓄積した太陽エネルギーを使用する器具の開発・販売にも取組んでいます。（LED ソーラーライト）今後も、これら省エネ性能に優れた新商品の市場投入と普及を加速させることで、2030年の原単位51.6%削減目標に向けて取組んでまいります。

各Ｓｃｏｐｅの排出量構成比　と　Ｓｃｏｐｅ３の内訳（2025年度実績）

各Scopeの排出量構成比

Scope	排出量 [t-CO2e]	割合 [%]
Scope 1	315.38	0.04%
Scope 2	1,543.96	0.17%
Scope 3	888,689.02	99.79%
合計	890,548.37	100.00%

Scope 3の内訳

カテゴリ	カテゴリ名	排出量 [t-CO2e]	割合 [%]
カテゴリ1	購入した製品・サービス	79,985.07	9.00%
カテゴリ2	資本財	696.22	0.08%
カテゴリ3	Scope1,2に含まれない燃料及びエネルギー関連活動	312.44	0.04%
カテゴリ4	輸送、配送（上流）	3,812.73	0.43%
カテゴリ5	事業から出る廃棄物	22.14	0.00%
カテゴリ6	出張	188.48	0.02%
カテゴリ7	雇用者の通勤	351.04	0.04%
カテゴリ11	販売した製品の使用	802,903.80	90.35%
カテゴリ12	販売した製品の廃棄	417.09	0.05%
Scope 3 合計		888,689.02	100.00%

算定対象範囲は子会社を含むコイズミ照明グループ全体としています 。本報告書の内容は、2025年4月～2026年3月を対象としています。
Scope 3については、カテゴリ1、2、3、4、5、6、7、11、12を算出しています 。当社の事業特性上、「カテゴリ11（販売した製品の使用）」による排出量が大部分を占めています 。
カテゴリ11に対する目標設定については経済的原単位（付加価値額）を採用しており、為替レートの変動による影響を排除するため通貨の換算レートは基準年（2023年度）のレートに固定した上で、基準年比の増減率にて進捗を管理・開示しています。また、2025年度においてScope 1（漏洩排出）の算定方法の適正化（実績ベースへの修正）を行ったことに伴い、経年比較の整合性を保つため、基準年（2023年度）の実績値にさかのぼって修正を実施しています 。

本報告書に関するお問い合わせは、当社Webサイトの「お問い合わせフォーム」よりお願いいたします。　https://faq.koizumi-lt.co.jp/kb/contact/

© 2026 KOIZUMI LIGHTING TECHNOLOGY CORP. All rights reserved.
本報告書の著作権は当社に帰属します。掲載内容の無断転載・複製はご遠慮ください。

KOIZUMI

温室効果ガス（GHG）排出量 年次報告書 【2025年度実績】

コイズミ照明株式会社
2026年7月1日作成

代表製品例：あかり専科 2025-26 vol.44 掲載製品









コイズミ照明株式会社　WEBカタログ　https://www.koizumi-lt.co.jp/product/webcatalog/index.html

© 2026 KOIZUMI LIGHTING TECHNOLOGY CORP. All rights reserved.
本報告書の著作権は当社に帰属します。掲載内容の無断転載・複製はご遠慮ください。